

EDI-S で接続エラーが出た際の対応について

静岡新聞社 営業局

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、弊社電子取引システム「EDI-S」をご利用する際、「この接続ではプライバシーが保護されません」とエラーが出るケースがあります。これは Google Chrome をバージョンアップすると現れる現象で、弊社においても対策を検討しております。対策が確定するまでの間は、下記に要領に従ってご対応ください。

ご迷惑をおかけし誠に恐縮ではありますが、よろしくご対応のほどお願い致します。

敬具

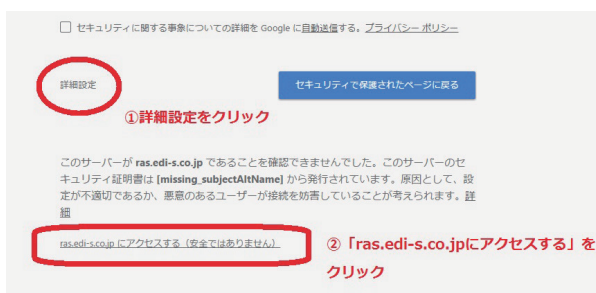
記

【1】接続エラーが発生した際に表示される画面



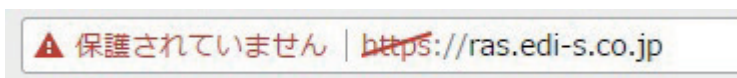
「攻撃者が…」とメッセージが出ますが、EDI-S の通信に関しては問題ありません。

【2】上記画面の左下にある詳細設定をクリック(①)し、続けて②をクリックします。



- ①詳細設定をクリックする。
 - ②「ras.edi-s.co.jp にアクセスする (安全ではありません)」をクリックする。
- ※ここでも警告メッセージが表示されますが EDI-S の通信は安全が確保されております。

【3】URL欄に下記の表示がされますが、EDI-Sでは暗号化されたセキュア通信(https)が行われているためご心配いりません。



以上